

始まったMT夢クラブ21の意義を担当者は・・・

最後に、このMT夢クラブ21の担当者で、市体育課の酒向園実さんにこのMT夢クラブ21の意義について話してもらいました。



学校中心のスポーツ活動が、逆にスポーツをする機会を遠ざけてしまう結果に

市体育課
酒向園実さん



▲酒向園実さん。県の社会教育主事。市体育課に、スポーツ担当として、県から派遣されています。

今年の4月1日から、学校完全週5日制が実施され、子どもたちがゆとりの中で目的をもち、いきいきと活動のできる環境づくりの推進が求められています。

そんな中で美濃加茂市は富加町と合同で平成12年度から学校、地域、各種団体、行政が連携し「2002年対策委員会」を設置し、中学校の部活動のあり方や小学校における文化・スポーツ環境の現状や課題そして今後の方向性について検討してきました。

中学校の部活動の課題としては、生

徒数が減少し、今後、学校によっては存続が危ぶまれる部活動も出てくること予想されます。また、生徒数の減少から教員数も減少傾向にあるため、教師の負担も大きくなり、専門的な経験のない教師にはますます負担になっていくのが現状であります。

中学校では部活動が全員加入制となっています。ただ、この中で自分で本当に取り組んでみたいと思う種目の部活動がないなど、問題が生じてきています。

また、小学生に目を向けてみると、スポーツなどをやる子どもと、そうでない子どもとの二極化の傾向が全国的に見られます。こうしたことは、スポーツが子どもにとって「こころ」と「からだ」の健全な発達を促してくれる大切なものであるだけに、考えていかなければいけない問題のように思いますね。

また、中学校の部活動やスポーツ少年団のように、これまでのスポーツ活動が学校中心に行われてきたことが、学校を卒業するとスポーツなどをやる機会から遠ざけてしまう結果となってしまったのではないかと思えます。

こうした現状を打開するために、学

校と地域社会が連携を取りながら、地域に根付いたスポーツクラブづくりが望まれるようになってきたわけです。

そこで、市と富加町は、この4月からいつでも、どこでも、だれもが、いつまでも気軽に文化・スポーツが出来る、「総合型地域文化・スポーツクラブ」を目指してMT夢クラブ21をスタートさせました。

このクラブは、最初のステップとして、小中学生がいろいろ文化やスポーツ体験できる環境づくりをスタートさせ、地域の人と一緒に活動ができるようにすすめているところです。

また、小学校では、気軽に文化やスポーツ、自然体験ができる「チャレンジクラブ」を各校区で開催しています。

このクラブは半年しか経過していない手探り状態ではありますが、今後は新たな指導者の発掘、各施設の有効的な利用方法などについて地域、保護者の理解や協力をどのように得ていくかが次へのステップにつながるのではないかと思っています。

こうしたことじつじつと取り組み、世代を越えたクラブに育っていったらいいですね。